

11月5日 (木) 花を育てて 思いやりも育てよう



令和2年度人権の花運動「人権の花植え付け式」が西原東小学校で行われ、6年生が代表して参加しました。人権の花運動は、花の苗を児童が協力して育てることで豊かな心、優しさと思いやりの心を育むことを目的としています。式で、那覇地方務局河津勲(かわづいさお)人権擁護課長は「みんなが相手の気持ちになって思いやるのが大切です」と児童たちに語りかけました。代表生徒によるペゴニアの植え付け後は、児童代表の矢上凜恩(やがみりおん)さんが「人権は一人ひとりが幸せに生きる権利です。みんなが毎日笑顔でわくわくしながら登校するにはどうしたらいいか一人ひとり考えよう」とあいさつしました。また、同校では人権擁護委員による人権教室も行われ、身近な人権について考える機会になりました。



クラスでの植え付けの様子



人権教室



1年1組
みんなで仲良くペゴニアを植え付けました！植えた後、下地昌代(しもじまさよ)先生が「お花を育てながらみんなの優しい心も育てましょう」と呼びかけ、児童からは「大事に育てるので、かわいいお花が咲いてほしい」との声があげられました。

10月19日 (月) 東部消防組合 緊急自動車安全運転講習会開催



東部消防組合では、緊急自動車安全運転講習会を開催し、消防職員3名、消防団員3名が受講しました。昨年度、東部消防組合消防団に初となる消防団車両が配備されたため、今年度から消防団員も参加しています。この講習会では、馬天自動車学校教官より、基本的な車両点検や、普段は体験する機会がない「急ブレーキ」「スラローム走行」などを通して「運転に対する心構え」や「運転技術の基本」などを学び、改めて緊急走行時などの安全意識の向上を図る機会となりました。今回の学びを、緊急自動車の安全運転により一層いかしていきます。

11月13日 (金) JA共済 「オリジナル親子健康手帳ケース」贈呈式



JA共済の地域貢献事業の一環として、今年もJA沖縄共済連沖繩県本部及びJAおきなわ西原支店より、「親子健康手帳ケース」400個の贈呈がありました。4年目となる今回のケースにはかわいいシーサーが描かれています。ケースには手帳のほかに診察券や領収書、印鑑などが収納でき、使い勝手がいいと好評です。西原支店の宮平直樹(みやひらなおき)支店長は、「母子の健康を願うとともに、少しでも子育てを応援できれば嬉しいです」と笑顔を見せました。

10月31日 (土) 東海岸を活性化！「琉球・武と舞の鼓動」



県外の旅行代理店・旅行社に東海岸の魅力をアピールしようと、令和2年度地域ビジネス力強化支援事業補助事業を活用した沖縄伝統武術・芸能「琉球・武と舞の鼓動」鑑賞会(美と健康と賑わいのサンライズタウン推進連携体主催)がムーンテラス東崎で開催され、力強い演武や太鼓、優美な舞が観客を魅了しました。演武した上地流空手道・琉球古武道興儀会館総本部の興儀清(よききよし)会長は「東海岸の活性化、発展のために初めてこういったイベントを開催しました。大成功です」と笑顔を見せました。

10月29日 (木) 行政相談委員 新垣朝憲さん 感謝状贈呈



町民と行政の架け橋となり、行政への苦情の解決に多大な貢献をしているとして、町の行政相談委員新垣朝憲(あらかきとものり)さんに沖縄行政評価事務所長より感謝状が贈られました。新垣さんは、平成27年より行政相談委員を務め、身近な暮らしのアドバイザーとして様々な相談への助言を行っています。小橋川健次(こばしがわけんじ)副町長は「町民のためにご尽力いただき誠にありがとうございます、今後も協力していきましょう」と感謝を述べました。新垣さんは「今後も地元のために協力したいです。自分の専門分野の建築関係についても力になれば嬉しいです」と笑顔を見せました。

10月30日 (金) 戦没者追悼式・艦砲め喰え残さー



日露戦争から先の大戦にかけて犠牲になった御霊のご冥福と恒久平和を願う西原町戦没者追悼式が、西原の塔で行われました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、例年より縮小しての開催となりましたが、参列者は秋風の吹く晴天の中戦没者に祈りを捧げ、恒久平和を誓いました。崎原盛秀町長は「戦後生まれが社会の大半を占めるようにはなりましたが、戦争の不条理さと残酷さを次世代に語り継ぎ、恒久平和に努めることが今を生きる私たちの使命だと感じています」とあい



さつしました。また、戦後75周年を記念して、戦いを耐えた樹齢約200年の「フクギ」の案内板除幕式も行われました。戦前の旧西原村役場があったこの地で米軍の爆撃を受け、中心が燃えて枯れ木同然となったフクギの木ですが、わずかな樹皮から芽吹き、「艦砲(かんぽう)め喰(く)え残(のこ)さー(艦砲射撃の食い残し)」として、今もたくましい姿をみせています。お近くを通った際はぜひご覧ください。

11月12日 (木) 町更生保護女性会 お手玉をプレゼント



町更生保護女性会より、町内の児童館へお手玉150個の寄贈がありました。安里邦子(あさとくにこ)会長は「町内の子どもたちのために会員皆で作りました。脳の刺激になり集中力もつづくので、遊んでもらえたら嬉しいです」と笑顔を見せました。こども課山城宏達(やましろひろたつ)課長は「お手玉は室内でも楽しく遊ぶので、児童館を利用する子どもたちも喜ぶます」と感謝を述べました。

11月2日 (水) 新型コロナウイルス対策に役立てて



小中学校での新型コロナウイルス感染症対策に役立ててほしいと、(有)沖縄クリーン工業前田裕樹(まえだひろき)代表取締役社長よりハンズフリー拡声器12個の寄贈がありました。マスクやフェイスシールドを着用していても声がこもりにくく、手がふさがらないため、新型コロナウイルス対策や防災などいろいろな場面での活用が期待されます。拡声器は各小中学校に2個ずつ配布されます。